

令和3年度 学校経営計画書

学校番号	52	学校名	県立金谷高等学校	校長名	石原 一義
------	----	-----	----------	-----	-------

1 目指す学校像

- ・落ち着いた学習環境の中で、生徒が明確な目標を持ち、自らの成長を感じながら生き生きと生活できる学校
- ・人間関係をはじめとする若者特有の悩みや将来に対する不安に対して、教師をはじめとして様々な大人が相談にのり、支援する学校
- ・地域社会との交流を深め、地域に貢献し、信頼される学校

(1) 教育目標

ア スクールミッション 「地域の未来を担う人材を育てる学校」

- ・地域創生や地域文化の継承・発展に寄与し、地域社会を支える人材を育成する学校
- ・生徒の個性を伸ばさせ、困難や逆境に立ち向かう心（レジリエンス）を育成する学校

イ 育てたい生徒像 校訓「たくましく心ゆたかに前進しよう」

「たくましく」

知・徳・体の調和のとれた人格を身に付け、自らの個性や特性を肯定的にとらえ、困難があっても立ち向かう、強い意志を持った生徒

「心ゆたかに」

- ・物質的な豊かさではなく、社会生活をする上での内面的な豊かさ、創造性に富んだ生徒
- ・多様性を尊重し、感性豊かでものの本質を見極められる生徒

「前進しよう」

- ・自分に限界を作らず新しいことに挑戦し続ける生徒
- ・主体的に学び続け、地域社会やグローバル社会に貢献できる生徒

ウ 育てたい資質・能力

- ①「基礎学力・情報活用力」 ②「人間関係形成力」 ③「将来設計力」
 ④「意思決定・行動力」 ⑤「自己理解力」

(2) 目標具現化の柱 ※（ ）内は対応する上記の資質・能力

- ア 生徒の学習習慣を確立し、主体的で対話的な深い学びにより確かな学力を定着させる。(①)
- イ 規範意識が高く、学校や社会のルールやマナーを順守し、TPOに応じた礼儀作法や言葉遣い、振舞い、爽やかな挨拶ができる生徒を育成する。(②・④)
- ウ キャリア教育を推進し、大学・行政・企業等との連携を図りながら生徒の進路意識を高め、進路実現のための適切な支援を行う。(①・③・⑤)
- エ 総合的な探究の時間や学校行事、ホームルーム活動、部活動等を通して、主体性や社会性、思いやりと共生の心を育てる。(①・②・③・④)
- オ 生徒の心身の健康や多様な家庭環境に対応するため、相談体制を整えるとともに、専門職と連携しながら支援にあたる。(②・⑤)
- カ 保護者や地域に対して積極的な情報発信を行い、開かれた学校づくりを推進する。
- キ 自然災害や交通事故から生徒を守り、安心安全な学校づくりを推進する。
- ク 新構想高校への改編に伴う情報発信を積極的に行う。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生徒の学習習慣を確立し、主体的で対話的な深い学びにより確かな学力を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●雄飛ノートを活用し、生徒の家庭学習時間を延ばす。 ●教材や生徒の活動を工夫し、魅力ある授業を展開することで、学習意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一日平均家庭学習時間：昨年比+10分 ●授業評価で「授業がわかる」と答える生徒の割合：80%以上 	教務課

様式第1号

イ	規範意識が高く、学校や社会のルールやマナーを順守し、TPOに応じた礼儀作法や言葉遣い、振舞い、爽やかな挨拶ができる生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 頭髪服装指導の継続。保護者と協力して正しい身だしなみで学校生活を送る姿勢を身に付けさせる。 ● あらゆる機会を捉えて挨拶や言葉遣い、交通安全など基本的なマナーを修得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な生活習慣やきちんとした頭髪服装ができていると答える生徒の割合：80%以上 ● 挨拶がきちんとできていると答える生徒の割合：80%以上 ● 交通事故発生件数：対前年比-10% ● 自転車指導件数：対前年比-10% 	生徒課
ウ	キャリア教育を推進し、大学・行政・企業等との連携を図りながら生徒の進路意識を高め、進路実現のための適切な支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年間を見通した体系的な指導体制を構築する。 ● 総合的な探究の時間や外部の支援を有効に活用し、進路意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路意識で「目指す方向がある」と答える生徒の割合：70%以上 ● 「学校は進路指導を熱心にしてくれる」と答える保護者の割合：80%以上 	進路課
エ	総合的な探究の時間や学校行事、ホームルーム活動、部活動等を通して、主体性や社会性、思いやりと共生の心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 探究・体験活動や奉仕活動を経験する中で、自己理解力、自己有用感を育み、人間関係を構築する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分に良い所があると思える生徒：80%以上 ● 他人への手助けやボランティア活動を行った生徒：80%以上 	生徒課 学年部
オ	生徒の心身の健康や多様な家庭環境に対応するため、相談体制を整えとともに、専門職と連携しながら支援にあたる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 担任、学年部、保健室、相談室の連携を密にし、臨機応変にサポート会議を開催するなど、初期対応を重視した支援を組織的に行う。 ● ケースにより SC、SSWr 等の専門職と連携をとり、行政機関や医療機関に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「先生方は悩みや相談に応じてくれる」と答える生徒の割合：80%以上 	保健 相談課 学年部
カ	保護者や地域に対して積極的な情報発信を行い、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「金高通信」の配布、メール配信、ホームページの適切な運用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学校は情報を良く提供してくれる」と答える保護者の割合：80%以上 	総務課
キ	自然災害や交通事故から生徒を守り、安心安全な学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習環境の整備と施設設備の管理保全に努め、学校経営計画に基づいた予算の適正編成、執行に努める。 ● 働き方改革や業務改善を通して、教職員が生徒と向き合える十分な時間を確保する。 ● 教職員の心身の健康保持増進のため、法令順守とワークライフバランス、メンタルヘルス向上のための取組を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校の施設設備の定期点検の実施 ● 経営予算については法令順守、相互チェックにより、適正に執行する。 ● 定時退勤日、部活動休業日を設け、適切に休養を取る。 ● 健康意識やコンプライアンス意識を高めるため、月1回委員会を開催する。 	事務部 総務課 職員安全衛生委員会 コンプライアンス委員会
ク	新構想高校への改編に伴う情報発信を積極的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 県教委主体の設立準備委員会を継続し、新構想高校の教育目標や教育課程、施設・設備等の最終案を作る。 ● 令和4年度からの開校準備委員会で協議される内容について校内外から広く意見を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 所管課と連携し、新構想高校について生徒保護者、地域や中学校に適切に情報発信していく。 	準備委員会

(記入上の留意点)

1 (1) (2) の欄は、単に校訓や抽象的な理念にとどまらず、学校の特色を明解に表現すること。また、具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。